

令和2年度 第1回伊勢市子ども・子育て会議 議事録

日 時 令和2年11月12日（木） 午後2時00分～午後3時10分

場 所 伊勢市役所本庁舎本館3階 委員会室

出席委員 深草、花田、濱口（美）、西川、尾関、濱口（恵）、秋山、森、中村、
下野、北川、阿部、玉木、川口、近、鳥堂

事務局 健康福祉部

- ・次長 大井戸、参事 岩佐
- ・子育て応援課 副参事 谷、子育て応援係長 西川、
こども育成係長 福田、井坂
- ・保育課 課長 堀川、保育係長 濱地、保育施設管理係長 須川、
運営係長 坂本
- ・健康課 課長 浦田、母子保健係長 北口
- ・生活支援課 生活支援係長 中瀬
- ・こども発達支援室 室長 樋口

教育委員会事務局

- ・教育総務課 課長 前村、中井
- ・学校教育課 指導主事 浅井

議 題

- (1) 第2期伊勢市子ども・子育て支援事業計画の取り組みについて
- (2) 伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画の見直しについて
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策の伊勢市の取り組みについて（子育て分野）

- ・事務局より開会挨拶、委員・事務局紹介、資料確認

【事務局より】

副会長の選任について協議

→副会長選任、副会長挨拶

【事務局より】

議題（１）について説明（資料１－１、資料１－２）

（「●」は委員意見、「(委)」は意見に関する委員の意見、「→」は事務局回答を表す）

- SDは未来に対して残す、現在で使い切らない。教育の世界では前からSDはあり、E (Education)SDとしている。これからは2つのSDが重要になってくるが、1つはこのSD、もう1つはSocial Distance。
- 現在、Society5.0に向けて動いている（スマート社会）がSDGsもその1つ。AI、ダイバーシティ、5Gなど。

【事務局より】

議題（２）について説明（資料２－１～２－４）

- 民間委託の課題について教えて欲しい。
→民間法人が保育士を確保することが特に難しい。また、施設整備や立地などの問題も見えてきた。
(委) 実際に委員会にも出席したが、保護者の抵抗が大きかった。

【事務局より】

議題（３）について説明（資料３）

- 保育現場として、どういう対応が必要か、委員に質問
(委) 感染対策としては今までのやり方のままでよい。今年、ヘルパンギーナ、手足口病は0だった。コロナを抑え込む動きで、インフルエンザはもちろん、風邪すら抑え込めている。
- マスクの着用について委員や保育現場等の委員に質問
(委) 体温の発散ができないため3歳未満はマスクしない方がいい。
(委) 3歳以上の園児は幼稚園・保育所は任意。小中学校は基本着用で体育・部活動は外し、登下校時は距離が取れる場合は外してもいい。

(委) 大人より子どもたちの方が手洗いが上手。子どもは徹底的に手洗いをしているため、子どもはマスクをしてなくてもいい一因になっている。

- 市からいただける感染対策補助はありがたいが、もうないのか。網戸設置補助は大変ありがたいが、伊勢市も大変がんばっていると感じる。

→来年度の国の予算案を見ると、感染対策補助については来年度もあると思われる。今年度は現在のところ追加はない。

- 県内他市では私立保育所職員へ45,000円の支給をする、県内でフルマラソンがないから立ち上げる、などしているため、伊勢市も独自の事業が必要ではないか。

【事務局より】

その他事項の説明（児童虐待防止啓発、配布したコロナ対策チラシ、スマート保育等の説明・紹介、次回開催予定、議事録公開の説明）